

再契約申請に当たっての注意事項について

1 記入及び提出方法について

- 申請書及び契約書について、契約関係者が記入押印し、同封している返信用封筒により、次の書類を提出期限までに御返送願います。
- 宮城県借上げ住宅再契約申請書兼誓約書・・・1通
右の記入例を参考に、入居者が記入押印願います。
 - 定期建物賃貸借契約書（再契約）・・・3通
裏面の記入例を参考に、貸主及び入居者が記入押印願います。
なお、仲介業者を介す場合は、仲介業者の記入押印も必要となりますので御注意願います。

2 契約書の主な変更点について

- 様式
再契約に当たっては、契約関係者の負担軽減を図るため、次のとおり契約書様式を変更しております。
 - 契約書様式の統一
賃貸借契約書（新規）
賃貸借契約書（切替）
賃貸住宅契約書
→ 様式統一 → 定期建物賃貸借契約書（再契約）
 - 契約書の単票化（A3版両面）
 - 契約書の事前印字（現在の契約内容をもとに印字しています。）
- 賃料等の支払時期
様式の統一により、支払時期を次のとおり変更しています。
 - 初回支払分
【変更前】「契約成立の翌月末まで」
【変更後】「契約始期月の前月末まで（契約成立が契約始期月の前月以降の場合は、契約成立月の翌月末まで）」
 - 第2回支払分以降
【変更前】「当月分を当月末まで」（賃貸住宅契約書）
【変更後】「当月分を前月末まで」
- 条項の追加
第16条で、本契約に起因する紛争に関し、訴訟を提起する場合の第一審管轄裁判所を本物件の所在地を管轄する地方（簡易）裁判所としました。

3 注意点

- 賃料等の端数処理（第4条第2項及び第5条第2項関係）
原契約の終期及び再契約の始期が、月中途の場合、それぞれの契約において日割り計算されますので御注意願います。（1円未満は切り捨てになります）
例 原契約の終期が5月13日で月額賃料50,000円の場合
原契約の5月分賃料 50,000円÷31日×13日=20,967円
再契約の5月分賃料 50,000円÷31日×18日=29,032円
合計 49,999円
- 仲介手数料
平成26年4月1日に消費税と地方消費税が改正されることに伴う仲介手数料の取扱いは以下のとおりとなります。（1円未満は切り捨てになります）
契約締結日が平成26年4月1日以降・・・賃料の0.54月分
契約締結日が平成26年3月31日以前・・・賃料の0.525月分
- 契約書の訂正
契約書に記入した内容を訂正する場合、修正液・修正テープは使用しないでください。
なお、訂正方法については、記入例及び同封の「再契約申請における質疑応答集」を確認の上、訂正願います。

記入例

入居者捨印
記入した内容に訂正がある場合は、押印してください。

宮城県借上げ住宅再契約申請書兼誓約書

入居者が記入してください。

嘉浩 殿

私は、県借上げ住宅再契約申請書を十分に理解し、遵守することになり、この申請書に記入した内容を承諾し、遵守する。なお、この申請書に記入した内容は、**インキ浸透印（シャチハタ等）以外の印鑑を押印してください。** 記入した日になります。

1 申請人（入居者が記入してください） 申請日 平成24年12月1日

フリガナ	ミヤキ タロウ	生年月日	大正昭和 平成 50年4月1日生
氏名	宮城 太郎	印	
現住所	〒●●●-●●●●● (物件名) ●●市●●●●●		
連絡先	自宅 022-000-0000	携帯	090-0000-0000
被災時の住所	〒981-0000 ●●市●●3丁目2-1		

2 入居者名及び同居者名（現時点）

入居者等	氏名	続柄	生年月日	年齢
入居者（申請人）	宮城 太郎	本人		37
同居人	宮城 花子	妻	大正昭和 平成 50.5.1	37
	宮城 一郎	長男	大正昭和 平成 10.1.1	14
	宮城 二郎二郎	次男	大正昭和 平成 12.10.1	12
計	4 人			

3 賃貸借物件（以下「本物件」という。）

整理番号	●●●●
物件名	●●アパート ●●●号室
物件所在地	●●市●●
入居者名	●●●●●
再契約期間	平成●●年●●月●●日から平成●●年●●月●●日まで

同一人物です

訂正する場合は、訂正箇所を二重線で引き、余白部に正しく記入してください。

入居者と同居人の合計人数を記入してください。

被災時に居住していた住所を記入してください。

記入例

・契約関係者（貸主・入居者）はもれなく記名押印してください。
 ・修正液、修正テープは使用しないでください。

定期建物賃貸借契約書（再契約）

貸主（以下「甲」という。）と借主宮城県知事（以下「乙」という。）は、借地借家法（平成3年法律第90号。以下「法」という。）第38条に定める契約期間満了により契約が終了して更新されない定期建物賃貸借契約（以下「本契約」という。）を下記(1)に記載する賃貸借の目的物（以下「本物件」という。）について締結する。
 借主（以下「丙」という。）は、東日本大震災により被災した者のうち、本物件に入居するに当たり、下記(1)の契約期間に限り無償供与する。
 本契約は、甲、乙及び丙に該当する条項が、それぞれ適用されるものとす

同一人物です

契約締結日は県が記入します。

契約の成立を証するため、本書3通を作成し、甲乙丙記名押印の上、各自そのを所持する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

貸主が記入してください。

貸主（甲）
 住所 〇〇県〇〇市〇〇1丁目2-3
 氏名 〇〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇〇〇
 電話 022 (〇〇〇) 〇〇〇〇
 FAX 022 (〇〇〇) 〇〇〇〇

同一人物です

借主（乙）
 ・入居者が記入してください。
 ・住所は、現在居住している住所を記入してください。

入居者（丙）
 住所 宮城県〇〇市〇〇1番
 氏名 〇〇 〇〇

仲介業者を介す場合は、仲介業者が記入してください。

インキ浸透印（シャチハタ等）以外の印鑑を押印してください。

仲介業者（媒介）
 免許番号 第 〇〇 号
 所在地 〇〇 〇〇
 商号・代表者氏名 〇〇 〇〇
 電話 ()
 FAX ()
 宅地建物取引主任者 登録番号 知事 第 〇〇 号
 氏名 〇〇 〇〇



現在の契約内容を印字しておりますので、貸主又は仲介業者が印字内容を確認の上、不足がある場合は、記入してください。

(1) 賃貸借の目的物

名称	宮城アパルト コーポ宮城		
所在地	宮城県〇〇市〇〇1番		
建物の名称・所在地等	建て方	共同建 長屋建 二戸建 その他	構造 コンクリート (RC造) SRC造) 鉄骨 (S造) 木造
	戸数	● 増建 ● 戸	
住戸番号	● 男室	間取り	(○) LDK・DK・K 専用 (水洗・非水洗)
	トイレ	有・無	
住戸部分 設備等	浴室	有・無	
	シャワー	有・無	
	給湯設備	有・無	
	ガスコンロ	有・無	
	冷暖房設備	有・無、設置 可・不可	
	ガス	有 (都市ガス・プロパンガス) ・無	
	上水道	水道管より直結・受水槽・井戸水	
	下水道	有 (公共下水道・浄化槽) ・無	
	カーテン	有・無	

(訂正例)
 訂正する場合は、訂正箇所を二重線で引き、余白部に正しく記入してください。

宮城県が加入する損害保険契約のため必要な情報ですので、該当する建物構造を必ず選択してください。

(2) 契約期間
 平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで 1年間

(3) 賃料等

賃料	月額 〇〇〇〇円	共益費・管理費	月額 〇〇〇〇円
その他の条件	初回支払分：契約始期月の前月末 場合は、契約成立月 第2回支払分以降：当月分を前月		

頭書（左上）に印字された貸主名、入居者名及び(4)～(7)に変更又は訂正がある場合は、再発行しますので、お問い合わせ願います。

(4) 一時金

項目	用途	負担者	支払先	金額
仲介手数料	賃貸借契約の媒介報酬として	乙	仲介業者	契約始期月の前月末まで (契約成立が契約始期月の前月以降の場合は、契約成立月の翌月末まで)

金額：〇〇〇〇円 (定額：賃料0.525月分)
 ※ただし、契約成立が平成26年4月1日以降の場合は、賃料0.54月分

(5) 振込指定口座

① 甲が指定する口座				送金される金銭：賃料、共益費・管理費	
金融機関	支店名	預金種別	口座番号	口座名義人	
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	姓 〇〇〇 名 〇〇〇	
② 仲介業者が指定する口座				送金される金銭：仲介手数料	
金融機関	支店名	預金種別	口座番号	口座名義人	
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	姓 〇〇〇 名 〇〇〇	

(6) 管理者及び建物所有者の住居・氏名・電話番号

管理者	住所	●●●●●	電話	●●●●●
	氏名	●●●●●	FAX	●●●●●
建物所有者	住所	●●●●●	電話	●●●●●
	氏名	●●●●●	FAX	●●●●●

(7) 丙氏名及び入居者数
 丙氏名 ●●●●●
 入居者数 計 〇 人

申請書に記入した入居者と同居人の合計人数を記入してください。

※本契約書は、宅地建物取引業法（昭和27年法律第176号）第35条に定められている書面